

慢性鼻炎

慢性鼻炎を治療しないで放置すると、将来、“ちくのうしょう”になるおそれがあります。鼻炎のうちに、治療する事が必要です。以下、鼻炎について説明します。

慢性鼻炎の症状

鼻づまり・鼻汁。(膿の様な鼻汁が出るようになったら“ちくのうしょう”です)
くしゃみ、鼻のかゆみ、鼻をこすりたくなります。

慢性鼻炎の診断

耳鼻咽喉科専門医が鼻の粘膜を見れば、簡単に診断がつきます。

慢性鼻炎の治療

耳鼻科的に鼻の処置をする事。鼻の吸入。内服薬、点鼻薬等。

慢性鼻炎について理解していただきたい事。

治るまで、長期間かかります。しかし毎日通院治療する必要はありません。

症状の強い時は間隔を短く、軽い時には間隔をあけてもさしつかえありません。

いずれにしても、根気よく治療する覚悟が必要です。

鼻炎が、“かぜ”と間違えられて治療されているのも困ります。“かぜ”は、熱が出たり体がだるくなったりします。又、“かぜ”が、それ程長い経過をとるはずはありません。熱がなく、一週間以上、鼻の症状があったら、鼻炎を疑って耳鼻咽喉科専門医の診察を受けて下さい。

“水泳許可”と、“鼻炎が治った”と言う事とは違います。学校検診で、鼻炎を指摘された時、御両親は是非この事を御理解ください。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	潮
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	ゆかり
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	さゆり